

国語科学習指導案

1 単元名 友達に学校のよさが伝わるように、見出しや構成を工夫して学校新聞を作ろう

—「新聞を作ろう」 光村図書 4年上「かがやき」—

2 単元観

本単元は、「新聞」の特徴について知り、その特徴を意識して実際に新聞作りを行う単元である。相手に伝える工夫として、一番伝えたいことに紙面を割くことや、伝えたいことがはっきり伝わるように写真や図表、グラフ、見出しなどを工夫すること、などがある。学校のよさが伝わる新聞にするためには、児童は、取材の段階からアンケートやインタビュー、写真撮影を行うなど、先を見通して活動していかなければならない。また、新聞は複数の情報を組み合わせて編集し、作られるものである。自分の一番伝えたいことが相手に伝わりやすいように、複数の情報を組み合わせて作っていくことを通して、児童に、書く内容の中心を明確にした文章の構成を考える力を育成する単元とする。

本単元では、同じ地域の小学校4年生に向けて、学校生活や学校の特徴などを題材に記事を書かせる。同じ地域の小学校には、同じ保育園、幼稚園の出身者が多くいるため、伝える相手を明確に意識しやすい。また、友達に自分の学校のことを知らせたいという目的意識を持続することができる。

3 指導方針

- ・交流する相手を想起させることで、相手意識をもたせる。
- ・毎時間、単元の課題を提示して確認することで、単元で身に付ける資質・能力に沿っためあてを立てられるようにする。
- ・ワークシートを用いて活動を可視化することで、自己の学習の進捗を確認できるようにする。
- ・構成を考える時に、試行錯誤しながら考えを練り上げるなどの作業を効率的に行えるように、新聞はタブレットPCを使って作成させる。
- ・タブレットPCを使用して作品を共有しながら交流させることで、様々な視点で話し合えるようにする。
- ・自己の学習を振り返り、学習内容が身に付いたことを実感させることで、次時への意欲を高める。
- ・質的な高まりを振り返ることができるように、単元で身に付ける資質・能力を、振り返りの視点としてもたせる。
- ・活動のゴールと活動計画に沿って振り返らせることで、見通しをもって活動に取り組めるようにする。

4 研究との関わり

群馬県教育委員会が作成した「はばたく群馬の指導プランⅡ」（令和元年8月）では、主体的に学び、学んだことを次の学習に活用できるように、各単位時間での「めあて」の設定と「振り返り」の場面をつくることの必要性を示している。「めあて」に沿った「振り返り」をする場面を設定することが、様々な学習場面で活用できる資質・能力の育成につながるとともに、その「振り返り」によって自覚した自分の学びに対しての充実感や達成度が次の学びに向かう意欲等を高めるといふ、「振り返り」の有用性が示されている。

本単元においては、この「めあて」と「振り返り」を児童が立てた活動計画と活動のゴールに照らし合わせて行いながら単元の課題を解決していくことで、児童に学習を調整する力の育成を図る。

そこで、「ひとまとまりの活動」を設定する。「ひとまとまりの活動」とは、単元の追究する過程において、複数の単位時間をひとまとまりにした活動である。この活動においては、課題解決された児童の姿を「活動のゴール」とする。児童は、この活動の中で学習の進め方を選択しながら、単位時間ごとに、活動計画と活動のゴールに照らし合わせてめあてを立て、活動し、振り返り、その振り返りと活動計画を基にして次のめあてを立てていく。単位時間ごとのめあてを設定する場面で、児童は学習を調整していくことになる。これらの活動を繰り返すことで、児童に自らの学習を調整する力を育成していく。

5 単元の目標

(1) 知識及び技能

比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使うことができる。 [(2)イ]

(2) 思考力、判断力、表現力等

書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 [書くことイ]

(3) 学びに向かう力、人間性等

言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

6 単元（題材）の評価規準

(1) 知識・技能

比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使っている。 [(2)イ]

(2) 思考・判断・表現

「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 [書くことイ]

(3) 主体的に学習に取り組む態度

進んで相手や目的を意識して題材を選び、構成を考え、新聞を完成させるまでの活動に見通しをもって新聞を作ろうとしている。

7 指導と評価の計画（全12時間）

過程	時	●ねらい ○学習活動 [☆] ICT活用	◎研究上の手立て ・指導上の留意点 ◇評価項目＜方法（観点）＞ [記] 記録に残す評価
つかむ	1	<p>●学校新聞の作り方を知り、新聞を作る活動に意欲をもつことができる。</p> <p>○学習の見通しをもつ。</p>	<p>・交流する相手を想起させることで、相手意識をもたせる。</p> <p>・単元の課題の確認： 単元の課題を提示し、新聞を作る学習の見通しをもたせる。</p> <p>・学習モデルの提示 新聞の実物を提示し、新聞作りの具体的なイメージをもたせる。</p>
		<p>[単元の学習課題] 友達に学校のよさが伝わるように、見出しや構成を工夫して学校新聞を作る。</p> <p>○本時を振り返る。</p> <p>[振り返りの視点] ・めあては達成できたか。 ・なぜ達成できたのか。 できなかったのか。 ・単元の課題に沿って学習できたか。 ・計画通りに進んでいるか。 ・次の時間は 「何を、どのように、どのくらい（質・量）、どうやって」 学習するのか。</p>	<p>・[振り返りの視点]を基に、単元の学習課題に沿って、本時の学習を振り返る。</p> <p>◇新聞の特徴を理解し、新聞を作る活動に意欲をもっている。 ＜発言・記述（態）＞</p>

追究する	2	<p>●自分の伝えたいことをはっきりさせて、学校新聞を作る活動の学習過程を知ることができる。</p> <p>○どのようなテーマで新聞を作るか考え、学習計画を立てる。</p>	<p>・既習事項の掲示： 既習事項をカードにして、常に提示しておく。</p> <p>・学習モデルの提示： 新聞作りに必要な活動を想起させる。</p> <p>・伝えたいことがはっきり分かるように、学校のよさをイメージマップを使って整理させる。 (追究する過程での思考・判断・表現の評価につながる見取りをし、支援を行う。)</p>
	3	<p>◎単元の課題に沿って新聞作りの活動（ひとまとまりの活動）計画を立て、友達と共有する活動を通して、新聞を完成させるまでの学習過程について見通しをもつことができる。</p> <p>○ひとまとまりの活動の活動計画を立てる。</p>	<p>児童がひとまとまりの活動の計画を立てる上で、以下の点に留意して指導する。</p> <p>・単元の課題の確認： 単元で身に付ける力に向かうめあてを立てさせる。</p> <p>・既習事項の掲示： 黒板や教室の壁面に提示し、活動を選択しやすいようにする。</p> <p>・学習モデルの提示： 新聞作りの過程を確認し、新聞作りに必要な活動を想起させる。</p> <p>・グループでの交流： 質・量・方法（「何を、どのように、どのくらい、どのようにして」）が分かるように、説明させる。</p> <p>・活動の共有： 共有したことを基に、自分の計画を見直させる。</p>
			<p>◇学校新聞を完成させるまでの学習過程について、見通しをもっている。</p> <p style="text-align: right;">＜発言・記述（態）＞</p>
	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10	<p>◎ひとまとまりの活動</p> <p>「伝えたいことが明確になるように構成した新聞を作る活動」</p> <p>【学習の進め方の例】</p> <p>割付をする、見出しを付ける、図や写真（資料）を選ぶ、記事を書く、取材する</p> <p>●比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解して使う。</p> <p>●書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係性に注意したりして文章の構成を考える。</p> <p>●進んで相手や目的を意識して題材を選び、構成を考え、新聞を完成させるまでの活動に見通しをもって新聞を作ろうとしている。</p> <p>※学習活動例については、「9 第4時から第10時の展開」を参照。</p>	<p>※指導上の留意点については、「9 第4時から第10時の展開」を参照。</p>
	本時②		<p>◇比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解して使っている。</p> <p style="text-align: right;">＜記述・活動の様子（知）＞ [記]</p> <p>◇書く内容の中心を明確にして記事を構成し、新聞に合った書き方で記事を書いている。</p> <p style="text-align: right;">＜記述・活動の様子（思）＞ [記]</p> <p>◇単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもっている。</p> <p style="text-align: right;">＜記述（態）＞ [記]</p>

	11	●単元の課題に沿って、伝えたいことがはっきりと伝わるように、学校新聞を推敲することができる。 ○記事を推敲し、新聞を仕上げる。	・記事の書き方や構成の仕方を想起させ、記事や構成を見直させる。 ◇書く内容の中心を明確にして記事を構成し、新聞に合った書き方で記事を書いている。 ＜記述・活動の様子（思）＞〔記〕
	12	●完成した学校新聞のよいところを見付け、単元の課題に沿って、身に付けた力を確認して、次に生かしたいことを振り返ることができる。 ○完成した新聞を読み合い、感想を伝え合う。 ○単元の課題に沿って、身に付けた力を確認して、次に生かしたいことを振り返る。	・友達の新聞を読み、パンフレットのよかったところなどを付箋に記入させ、交流させる。 ・単元の課題を確認し、単元全体を振り返らせ、本単元で身に付けた力や、次の学習や日常生活に生かしたいことなどを振り返らせる。 ◇学校新聞作りを通して身に付いた力を確認し、次に生かしたいことを振り返っている。 ＜記述（態）＞

8 第3時の展開（本時①：本時は12時間扱いの3時間目）

(1) ねらい

単元の課題に沿って新聞作りの活動（ひとまとまりの活動）の計画を立て、友達と共有する活動を通して、新聞を完成させるまでの学習過程について見通しをもつことができる。

(1) 準備

タブレットPC

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される児童の反応 〔☆〕ICT活用	◎【研究上の手立て】 ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞〔記〕記録に残す評価
導入 10分	1 学校新聞を書く活動（ひとまとまりの活動）の見通しをもつ。 ○活動のゴールを確認する。 ○今までの学習活動を想起する。	○単元の課題確認： 単元の課題を確認させてから、本時のめあてを知らせる。 【本時の学習課題】（めあて） 自分の伝えたいことがはっきりと伝わるような学校新聞を作る計画を立てよう。
展開 15分	2 学校新聞を作る活動（ひとまとまりの活動）の計画を立てる。〔☆〕 ○単元の課題に沿って学習計画を立てる。	◎単元の課題の確認 単元で身に付ける資質・能力に沿った計画を立てさせる。 ○活動の見通しをもたせるために、まず3時間分の計画を立てさせる。 ●活動の共有： 活動の計画はプレゼンテーションソフトを用いて作成し、児童同士が自由に見られるようにする。 ●既習事項の確認： 既習事項を黒板や教室の壁面に提示し、活動を選択しやすくする。 ●伝えたいことを整理できるように、イメージマップを使って考えを整理させる。
展開 10分	3 活動計画を共有する。〔☆〕 ○自分の計画を友達に説明する。 ○友達の計画のよいところを見付ける。 ○友達の説明を参考にして、自分の計画を見直す。	○活動の共有： 友達の計画を見たり、説明を聞いたりして、自分の計画に取り入れたいものがあれば、活動計画を見直させる。 ○二人組で自分が立てた計画を説明させる。説明する際には、「何を、どのように、どのくらい（質・量）、どのようにして」が分かるように説明させる。

		○見付けた友達の計画のよいところを、学級全体で共有する。 ●友達の学習計画を見て、計画を立てる参考にさせる。
まとめ 10分	4 本時の学習を振り返る。〔☆〕 ○振り返りの視点に沿って、本時の学習を振り返る。 ○振り返りを共有する。 ○本時の学習の振り返りから、次時の学習計画を見直す。	○振り返りの視点に沿って振り返らせ、次時の活動の見通しをもたせる。 ○振り返りは、プレゼンテーションソフトを用いて行い、お互いに振り返りの様子が見られるようにする。 ●友達の振り返りや見直された計画から、自分の計画を見直させる。 ◇単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもっている。 <ワークシート（態）〔記〕>

9 第4時から第10時の展開（本時②：本時は12時間扱いの4時間目から10時間目）

ひとまとまりの活動

「伝えたいことが明確になるように構成した新聞を作る活動」

【学習の進め方の例】

割付をする、見出しを付ける、図や写真（資料）を選ぶ、記事を書く、取材する

(1) ねらい

- ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解して使うことができる。
- ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして文章の構成を考えることができる。
- ・進んで相手や目的を意識して題材を選び、構成を考え、新聞を完成させるまでの活動に見通しをもって新聞を作ろうとする。

(2) 準備

タブレットPC

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される児童（生徒）の反応 〔☆〕ICT活用	◎【研究上の手立て】 ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目<方法（観点）>〔記〕記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてを立てる。〔☆〕 ○前時の振り返りを基に、本時のめあてを立てる。 ・他の学校から見た学校のよさを知るために、今年来られた〇〇先生にインタビューをする。 ・伝えたいことが、はっきりと分かるような見出しを作る。 ・一番伝えたいことが分かるように、記事の構成を考える。 ・自分の伝えたいことが分かるように、段落に気を付けて「〇〇」と「△△」の記事を書く。	◎【学習の進め方の選択】 活動のゴールにおける自分の姿をイメージしながら、活動計画と前時の振り返りを基にしてめあてを立てさせる。 ○単元の課題の確認： 単元で身に付ける力に向かうめあてを立てさせる。 ○立てためあてによっては、活動計画を修正してもよいこととする。 ●活動の共有： プレゼンテーションソフトを用いて、めあてを友達と共有できるようにし、いつでも自分の計画の参考にできるようにする。 ◇進んで相手や目的を意識して書くことを選び、構成を考え、学校新聞を完成させるまでの活動に見通しをもって学校新聞を作ろうとしている。 <発言・記述（態）>

展開 30分	2 自分が選択した活動を進める。 [☆]	◎【ひとまとまりの活動】 児童が選択した活動を、各自で進めさせる。 ○活動の共有： 学校新聞は、プレゼンテーションソフトを用いて作成させ、いつでも友達の様子がみられるようにする。																								
	<table><tr><th colspan="2">【ひとまとまりの活動】</th></tr><tr><th>学習活動例</th><th>○指導上の留意点●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞[記] 記録に残す評価</th></tr><tr><td>①取材する。</td><td>①自分が知りたいことが分かるような方法で、取材させる。</td></tr><tr><td>②割付を考える。</td><td>②最も大きく取り上げたいものは何か、取材した内容を分かりやすく伝えるために必要な大きさはどの程度かなどから、記事の大きさや図・写真の場所を考えさせる。</td></tr><tr><td>③記事を書く。</td><td>③「伝えたいことを最初を書く」「事実を書く」などの新聞の記事の書き方の特徴を意識させて、記事を書かせる。</td></tr><tr><td>④記事に見出しを付ける。</td><td>④伝えたい内容に合った見出しを付けさせる。</td></tr><tr><td>⑤写真や図、表などを考える。</td><td>⑤何を言葉で伝え、何を写真や図などで伝えるのかを考えさせる。</td></tr><tr><td>※①～⑤の活動は、児童が進め方を選択する。</td><td>●活動の様子を共有して、児童同士で活動の進み方を見合ったり、全体で進め方や進捗を確認できるようにしたりして、各自の活動の参考にさせる。</td></tr><tr><td>※①～⑤は順序を表すものではない。</td><td>●友達と活動状況を共有し、学習の進め方を見直す場を設ける。 （本単元では、第7時を予定）</td></tr><tr><td></td><td>◇比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解して使っている。 ＜記述・活動の様子（知）＞[記]</td></tr><tr><td></td><td>◇書く内容の中心を明確にして記事を構成し、新聞に合った書き方で記事を書いている。 ＜記述・活動の様子（思）＞[記]</td></tr><tr><td></td><td>※児童の学習の進め方に沿って、評価する。</td></tr></table>		【ひとまとまりの活動】		学習活動例	○指導上の留意点●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞[記] 記録に残す評価	①取材する。	①自分が知りたいことが分かるような方法で、取材させる。	②割付を考える。	②最も大きく取り上げたいものは何か、取材した内容を分かりやすく伝えるために必要な大きさはどの程度かなどから、記事の大きさや図・写真の場所を考えさせる。	③記事を書く。	③「伝えたいことを最初を書く」「事実を書く」などの新聞の記事の書き方の特徴を意識させて、記事を書かせる。	④記事に見出しを付ける。	④伝えたい内容に合った見出しを付けさせる。	⑤写真や図、表などを考える。	⑤何を言葉で伝え、何を写真や図などで伝えるのかを考えさせる。	※①～⑤の活動は、児童が進め方を選択する。	●活動の様子を共有して、児童同士で活動の進み方を見合ったり、全体で進め方や進捗を確認できるようにしたりして、各自の活動の参考にさせる。	※①～⑤は順序を表すものではない。	●友達と活動状況を共有し、学習の進め方を見直す場を設ける。 （本単元では、第7時を予定）		◇比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解して使っている。 ＜記述・活動の様子（知）＞[記]		◇書く内容の中心を明確にして記事を構成し、新聞に合った書き方で記事を書いている。 ＜記述・活動の様子（思）＞[記]		※児童の学習の進め方に沿って、評価する。
【ひとまとまりの活動】																										
学習活動例	○指導上の留意点●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞[記] 記録に残す評価																									
①取材する。	①自分が知りたいことが分かるような方法で、取材させる。																									
②割付を考える。	②最も大きく取り上げたいものは何か、取材した内容を分かりやすく伝えるために必要な大きさはどの程度かなどから、記事の大きさや図・写真の場所を考えさせる。																									
③記事を書く。	③「伝えたいことを最初を書く」「事実を書く」などの新聞の記事の書き方の特徴を意識させて、記事を書かせる。																									
④記事に見出しを付ける。	④伝えたい内容に合った見出しを付けさせる。																									
⑤写真や図、表などを考える。	⑤何を言葉で伝え、何を写真や図などで伝えるのかを考えさせる。																									
※①～⑤の活動は、児童が進め方を選択する。	●活動の様子を共有して、児童同士で活動の進み方を見合ったり、全体で進め方や進捗を確認できるようにしたりして、各自の活動の参考にさせる。																									
※①～⑤は順序を表すものではない。	●友達と活動状況を共有し、学習の進め方を見直す場を設ける。 （本単元では、第7時を予定）																									
	◇比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解して使っている。 ＜記述・活動の様子（知）＞[記]																									
	◇書く内容の中心を明確にして記事を構成し、新聞に合った書き方で記事を書いている。 ＜記述・活動の様子（思）＞[記]																									
	※児童の学習の進め方に沿って、評価する。																									
まとめ 10分	3 本時の学習を振り返る。[☆] ○振り返りの視点に沿って、本時の学習を振り返る。 ・他の学校から見た学校のよさを知るために、今年来られた〇〇先生にインタビューをできた。 ・伝えたいことが、はっきりと分かるような見出しを作れた。 ・一番伝えたいことが分かるように、記事の構成を考えられた。 ・自分の伝えたいことが分かるように、段落に気を付けて「〇〇」と「△△」の記事を書けた。 ○振り返りを共有する。 ○本時の振り返りを基に、活動計画を見直す。	◎【自分の進捗を可視化した振り返り】 振り返りの視点に沿って振り返らせ、次時の活動の見通しをもたせる。 ○活動の共有： 振り返りはプレゼンテーションソフトを用いて行い、お互いに振り返りの様子が見られるようにする。 ●活動の共有： 友達の振り返りや見直された計画から、自分の活動を見直させる。 ◇単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもっている。 ＜ワークシート（態） [記]＞																								

国語科学習指導案

1 単元名 気持ちの変化を読み、想像したことを話し合っ、音読劇を作ろう

—「ごんぎつね」 光村図書 4年下「はばたき」—

2 単元観

本単元は、「ごんぎつね」を読み、そこで読み取った登場人物の気持ちの変化などが伝わる音読劇を行う。そこで、児童は、登場人物の気持ちの変化を場面の移り変わりと結び付けて読み取り、読み取ったことを具体的に想像しながら、ワークシートに読み取ったことを書き込んで台本を作っていく。

本作品は、登場人物の気持ちが、豊かな情景描写によって表現されている。それぞれの場面ごとの登場人物の気持ちを想像するだけでなく、物語全体を通じて複数の叙述と結び付けることで、登場人物の気持ちの変化などを読み取らせていく。

3 指導方針

- ・毎時間、単元の課題を提示して確認することで、単元で身に付ける資質・能力に沿っためあてを立てられるようにする。
- ・ワークシートを用いて活動を可視化することで、自己の学習の進捗を確認できるようにする。
- ・内容の読み取りの方向性がずれないように、全体で読み取ったことを共有する時間を、毎時間設ける。
- ・タブレットPCを使用して活動を共有しながら交流させることで、様々な視点から話し合えるようにする。
- ・質的な高まりを振り返ることができるように、単元で身に付ける資質・能力を、振り返りの視点としてもたせる。
- ・活動のゴールと活動計画に沿って振り返らせることで、見通しをもって活動に取り組めるようにする。

4 研究との関わり

群馬県教育委員会が作成した「はばたく群馬の指導プランⅡ」（令和元年8月）では、主体的に学び、学んだことを次の学習に活用できるように、各単位時間での「めあて」の設定と「振り返り」の場面をつくることの必要性を示している。「めあて」に沿った「振り返り」をする場面を設定することが、様々な学習場面で活用できる資質・能力の育成につながるとともに、その「振り返り」によって自覚した自分の学びに対する充実感や達成度が次の学びに向かう意欲等を高めるといふ、「振り返り」の有用性が示されている。

本単元においては、この「めあて」と「振り返り」を児童が立てた活動計画と活動のゴールに照らし合わせて行いながら単元の課題を解決していくことで、児童に学習を調整する力の育成を図る。

そこで、「ひとまとまりの活動」を設定する。「ひとまとまりの活動」とは、単元の追究する過程において、複数の単位時間に渡って、児童が試行錯誤を繰り返しながら課題解決に向かう活動である。この活動においては、課題解決された児童の姿を「活動のゴール」とする。児童は、この活動の中で学習の進め方を選択しながら、単位時間ごとに活動計画と活動のゴールに照らし合わせてめあてを立て、活動し、振り返り、その振り返りと活動計画を基にして次のめあてを立てていく。単位時間ごとのめあてを設定する活動を通して、児童は学習を調整していくことになる。これらの活動を繰り返すことで、児童に自らの学習を調整する力を育成していく。

5 単元の目標

(1) 知識及び技能

様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。 [(1)オ]

(2) 思考力、判断力、表現力等

登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。[読むことエ]

(3) 学びに向かう力、人間性等

言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

6 単元の評価規準

(1) 知識・技能

様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。[(1)オ]

(2) 思考・判断・表現

「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。[読むことエ]

(3) 主体的に学習に取り組む態度

登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、進んで音読しようとしている。

7 指導と評価の計画（全12時間）

過程	時	●ねらい ○学習活動 [☆] ICT活用	◎研究上の手立て ・指導上の留意点 ◇評価項目＜方法（観点）＞ [記] 記録に残す評価
つかむ	1	<p>●「ごんぎつね」を読み、内容の大体を捉えることができる。</p> <p>○初発の感想を書く。</p> <p>○学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[単元の学習課題] 気持ちの変化を読み、想像したことを話し合っ、音読劇を作ろう</p> </div> <p>○本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[振り返りの視点] ・めあては達成できたか。 ・なぜ達成できたのか。 できなかったのか。 ・単元の課題に沿って学習できたか。 ・計画通りに進んでいるか。 ・次の時間は 「何を、どのように、どのくらい（質・量）、どうやって」 学習するのか。</p> </div>	<p>・「ごんぎつね」を読み、登場人物や時代、出来事などを確認し、内容の大体を捉え、初発の感想を書かせる。</p> <p>・単元の課題の確認： 単元の課題を提示し、音読劇までの学習の見通しをもたせる。</p> <p>・[振り返りの視点]に沿って振り返らせ、次時の活動の見通しをもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇物語の内容の大体を捉え、学習の見通しをもち、音読活動に意欲をもっている。 ＜発言・記述（態）＞</p> </div>

追究する	2	●一の場面の台本を作ることができる。	
	3	○物語の山場を読み取る。 ○音読劇の台本の作り方を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちが大きく変化した場面を、場面の移り変わりや、様子や行動、気持ちや性格を表す語句に着目して山場を読み取らせる。 ・気持ちの変化を読み取る際は、動作や会話、心情表現、情景描写などに着目させる。 ・より深く物語の内容を捉えるために、視点の変化や場面ごとに使われている色などに着目させる。 ・気持ちを表す言葉や場面の様子を表す言葉を増やすために、国語辞典などを活用させる。 ・[教科書に書き込むこと]を提示し、一の場面を読み取ったことや想像したことなどを書き込ませる。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[教科書に書き込むこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつの出来事か：季節や時間 ・どこで出来事が起こっているか：場所 ・だれが：登場人物 ・どのようにしている（登場人物は） ・どんなものを見ているか ・どんな音を聞いているか ・どんなにおいを嗅いでいるか ・さわってどんな感じがしたか ・どんなことを考えているか ・どんな気持ちか ・（あなたは読んで）どのように感じたか </div> <p>○書き込みを基に、一の場面を音読する。[☆]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書き込みを基に、声の大きさや速さ、強弱、抑揚、間の取り方などを工夫させる。 ・登場人物の気持ちなどが具体的に想像できるように、動作化させる。 ・自分で聞き直したり、友達と共有したりするために、音読はタブレットP Cを用いて記録させる。 ・友達の書き込みや音読から、自分の書き込みを見直させる。 <p>・活動の共有： 教科書に書き込んだことを基に、音読させ、読み取ったことを学級全体で交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ＜記述・活動の様子（思）＞[記]</p> </div>
	4	◎単元の課題に沿って音読劇の台本を作る活動（ひとまとまりの活動）の計画を立て、友達と共有する活動を通して、学習過程について見通しをもつことができる。	
		○音読劇のグループを決め、ひとまとまりの活動の活動計画を立てる。	<p>児童がひとまとまりの活動の計画を立てる上で、以下の点に留意して指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の課題の確認： 単元で身に付ける力に向かうめあてを立てられるようにする。 ・既習事項の掲示： 黒板や教室の壁面に掲示し、活動を選択しやすいようにする。 ・学習モデルの提示： 台本作りの過程を確認し、台本作りに必要な活動を想起させ、教科書に書き込む内容を確認する。 ・グループでの交流： 自分が立てた計画を説明させる。説明する際には、「何を、どのように、どのくらい（質・量）、どのようにして」が分かるように、説明させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇音読劇の台本を完成させるまでの学習過程について、見通しをもっている。＜発言・記述（態）＞</p> </div>
	5	◎ひとまとまりの活動	
	6	「登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像して台本を作る活動」	
	7	【学習の進め方の例】	
	8	場面を読み取る、部分を読み取る、書き込む、音読する、自分や友達の音読を聞く	
	9	●様子や行動、気持ちや性格を表す語句を使い、台本を書くことができる。	
		●登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像して、台本に書き込み、音読することができる。	
		●単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもとうとしている。	

ま と め る	・ 10	○自分が選択した活動を進める。 [☆] ※学習活動例については、「8 第5 時から第10時の展開」を参照。	※指導上の留意点については、「8 第5時から第10 時の展開」を参照。 ◇様子や行動、気持ちや性格を表す語句を使い、台 本を書いている。 ＜記述・活動の様子（知）＞[記] ◇登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変 わりと結び付けて具体的に想像している。 ＜記述・活動の様子（思）＞[記] ◇単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の 学習の見通しをもっている。 ＜記述（態）＞[記] ※児童の学習の進め方に沿って、評価する。
	11	●音読劇を行う。 ○グループごとに担当した場面を音読 する。	・グループでごとに場面を分担し、音読劇を行わせ る。 （追究する過程での思考・判断・表現の評価につな がる見取りをし、支援を行う。）
	12	●音読劇の感想を伝え合い、単元の課題に沿って身に付けた力を確認して、次の学習に生かし たいことを振り返ることができる。 ○音読劇の感想を伝え合う。 ○単元の課題に沿って、身に付けた力 を確認して、次の学習に生かしたい ことを振り返る。	・グループでの交流： 他のグループの音読を聞き、よいところをグループ 内で伝え合う。 ・活動の共有： グループの話し合いで出た、他のグループのよかった ところを学級全体で共有する。 ・単元の課題に沿って、本単元全体を振り返らせる。 ◇音読劇を通して身に付いた力を確認し、次に生か したいことを振り返っている。 ＜記述（態）＞

8 第5時から第10時の展開（本時は12時間扱いの5時間目から10時間目）

◎ひとまとまりの活動

「登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像して音読劇の台本を作る活動」

【学習の進め方の例】

場面を読み取る、部分を読み取る、書き込む、音読する、自分や友達の音読を聞く

(1) ねらい

- ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。
- ・登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。
- ・登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、進んで音読しようとしている。

(2) 準備

タブレットPC

(3) 展開

時 間	○学習活動 ・予想される児童（生徒）の反応 [☆] ICT活用	◎【研究上の手立て】 ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞[記] 記録に残す評価
--------	---------------------------------------	---

導入 5分	<p>1 本時のめあてを立てる。〔☆〕</p> <p>○前時の振り返りを基に、本時のめあてを立てる。</p> <p>【予想される児童のめあて】</p> <ul style="list-style-type: none">書き込んだごんの気持ちが分かるように、声の大きさを工夫して音読する練習をする。三の場面のごんと兵十の気持ちを書き込む。四の場面自分が感じた、場面の様子などを書き込み、音読を試みる。友達の音読を聞いて、五の場面のごんの気持ちを書き込む。 <p>等</p> <p>※各児童の活動の進め方や進度によってめあては異なる。</p>	<p>◎【学習の進め方の選択】</p> <p>活動のゴールにおける自分の姿をイメージさせながら、活動計画と前時の振り返りを基にしてめあてを立てさせる。</p> <p>○単元の課題の確認：</p> <p>単元の課題に沿ってめあてを立てさせる。</p> <p>●活動の共有：</p> <p>めあてを友達と共有できるようにし、いつでも自分の計画の参考にできるようにする。</p> <p>◇相手や目的を意識して書くことを選び、構成を考え、新聞を完成させるまでの活動に見通しをもって、進んで新聞を作ろうとしている。</p> <p>＜発言・記述（態）＞</p>																										
展開 10分	<p>2 自分が選択した活動を進める。</p> <p>〔☆〕</p> <p>○二～六の場面の台本を作る。</p>	<p>◎【ひとまとまりの活動】</p> <p>児童が選択した活動を、各自で進めさせる。</p>																										
<table><tr><th colspan="2">【ひとまとまりの活動】</th></tr><tr><th>学習活動例</th><th>指導上の留意点●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞〔記〕記録に残す評価</th></tr><tr><td>①読み取ったことや想像したことを書き込む。</td><td>①「ワークシートに書き込むこと」を基に、自分が読み取ったことや、想像したことなどを書き込ませる。</td></tr><tr><td>②音読する。</td><td>②書き込んだ内容が伝わるように、声の大きさや読む速さ、強弱、抑揚、間の取り方などを工夫して音読させる。 ②タブレットPCを用い、自分の音読を記録させ、確認できるようにする。 ②児童が記録した音読を共有し、いつでも自分の音読を聞いたり、友達の音読を聞いたりして、活動の参考にできるようにする。</td></tr><tr><td>③自分の音読を聞く。</td><td>③声の大きさや読む速さ、強弱、抑揚、間の取り方などから、書き込んだ内容が伝わるような音読になっているかを確認、書き込みを見直させたり、音読を工夫させたりする。</td></tr><tr><td>④友達の音読を聞く。</td><td>④友達の音読と書き込みから、自分の書き込みや音読の工夫を見直させる。</td></tr><tr><td>⑤言葉を調べる。</td><td>⑤自分が知りたいことが分かるような方法で、調べさせる。</td></tr><tr><td>※①～⑤の活動は、児童が進め方を選択する。</td><td>●活動の様子を共有して、児童同士で学習の進み方を見合ったり、全体で進め方や進度を確認できるようにしたりして、各自の活動の参考にさせる。</td></tr><tr><td>※①～⑤は順序を表すものではない。</td><td>●常に全体との関係を意識させながら、場面や部分の読み取りを行わせる。</td></tr><tr><td>※①～⑤の活動は、どの場面やどの部分から行ってもよいこととする。</td><td>◇様子や行動、気持ちや性格を表す語句を使い、台本を書いている。 ＜記述・活動の様子（知）＞〔記〕</td></tr><tr><td></td><td>◇登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ＜記述・活動の様子（思）＞〔記〕</td></tr><tr><td></td><td>◇単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもっている。 ＜記述（態）＞〔記〕</td></tr><tr><td></td><td>※児童の学習の進め方によって、評価する。</td></tr></table>			【ひとまとまりの活動】		学習活動例	指導上の留意点●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞〔記〕記録に残す評価	①読み取ったことや想像したことを書き込む。	①「ワークシートに書き込むこと」を基に、自分が読み取ったことや、想像したことなどを書き込ませる。	②音読する。	②書き込んだ内容が伝わるように、声の大きさや読む速さ、強弱、抑揚、間の取り方などを工夫して音読させる。 ②タブレットPCを用い、自分の音読を記録させ、確認できるようにする。 ②児童が記録した音読を共有し、いつでも自分の音読を聞いたり、友達の音読を聞いたりして、活動の参考にできるようにする。	③自分の音読を聞く。	③声の大きさや読む速さ、強弱、抑揚、間の取り方などから、書き込んだ内容が伝わるような音読になっているかを確認、書き込みを見直させたり、音読を工夫させたりする。	④友達の音読を聞く。	④友達の音読と書き込みから、自分の書き込みや音読の工夫を見直させる。	⑤言葉を調べる。	⑤自分が知りたいことが分かるような方法で、調べさせる。	※①～⑤の活動は、児童が進め方を選択する。	●活動の様子を共有して、児童同士で学習の進み方を見合ったり、全体で進め方や進度を確認できるようにしたりして、各自の活動の参考にさせる。	※①～⑤は順序を表すものではない。	●常に全体との関係を意識させながら、場面や部分の読み取りを行わせる。	※①～⑤の活動は、どの場面やどの部分から行ってもよいこととする。	◇様子や行動、気持ちや性格を表す語句を使い、台本を書いている。 ＜記述・活動の様子（知）＞〔記〕		◇登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ＜記述・活動の様子（思）＞〔記〕		◇単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもっている。 ＜記述（態）＞〔記〕		※児童の学習の進め方によって、評価する。
【ひとまとまりの活動】																												
学習活動例	指導上の留意点●努力を要する児童への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞〔記〕記録に残す評価																											
①読み取ったことや想像したことを書き込む。	①「ワークシートに書き込むこと」を基に、自分が読み取ったことや、想像したことなどを書き込ませる。																											
②音読する。	②書き込んだ内容が伝わるように、声の大きさや読む速さ、強弱、抑揚、間の取り方などを工夫して音読させる。 ②タブレットPCを用い、自分の音読を記録させ、確認できるようにする。 ②児童が記録した音読を共有し、いつでも自分の音読を聞いたり、友達の音読を聞いたりして、活動の参考にできるようにする。																											
③自分の音読を聞く。	③声の大きさや読む速さ、強弱、抑揚、間の取り方などから、書き込んだ内容が伝わるような音読になっているかを確認、書き込みを見直させたり、音読を工夫させたりする。																											
④友達の音読を聞く。	④友達の音読と書き込みから、自分の書き込みや音読の工夫を見直させる。																											
⑤言葉を調べる。	⑤自分が知りたいことが分かるような方法で、調べさせる。																											
※①～⑤の活動は、児童が進め方を選択する。	●活動の様子を共有して、児童同士で学習の進み方を見合ったり、全体で進め方や進度を確認できるようにしたりして、各自の活動の参考にさせる。																											
※①～⑤は順序を表すものではない。	●常に全体との関係を意識させながら、場面や部分の読み取りを行わせる。																											
※①～⑤の活動は、どの場面やどの部分から行ってもよいこととする。	◇様子や行動、気持ちや性格を表す語句を使い、台本を書いている。 ＜記述・活動の様子（知）＞〔記〕																											
	◇登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ＜記述・活動の様子（思）＞〔記〕																											
	◇単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもっている。 ＜記述（態）＞〔記〕																											
	※児童の学習の進め方によって、評価する。																											

展開 10分	<p>3 活動状況を全体で共有する。</p> <p>○活動状況や読み取ったことを共有し、自分の進め方や、解釈を見直す。</p>	<p>○グループでの交流： 物語の全体像から逸脱しないように、単元のつかむ過程で読み取った物語の全体の構成や内容から、自分の読み取ったことを見直したり、友達の説明を聞き、自分と同じ読み取りと違った読み取りについて考えさせたりして、自分の読み取りを見直させる。</p> <p>○活動の共有： 場面の移り変わりや結び付けて、登場人物の気持ちの変化や登場人物の様子、行動などの書き込みを学級全体で共有する。</p> <p>●友達の考えを基に、叙述に即して自分の読み取りを見直させる。</p>
展開 10分	<p>4 自分が選択した活動を進める。 [☆]</p> <p>○見直した書き込み等を踏まえて、ひとまとまりの活動を進める。</p>	<p>※展開前半と同様。</p> <p>○児童が自らの学びを確認するために、本時の書き込みを写真で撮って保存させる。</p> <p>○児童が保存した書き込みを共有し、いつでも活動の参考にできるようにする。</p>
まとめ 10分	<p>5 本時の学習を振り返る。[☆]</p> <p>○振り返りの視点に沿って、本時の学習を振り返る。</p> <p>【予想される児童の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書き込んだごんの気持ちが分かるように、声の大きさを工夫して音読できた。 三の場面のごんと兵十の気持ちを書き込めた。次の時間は四の場面の書き込みをしよう。 四の場面で自分が感じた、場面の様子などを書き込んで、音読できた。次の時間から書き込みをして、音読する。 友達の音読を聞いて、五の場面のごんの気持ちの書き込み方が分かったから、今度は自分で三の場面書き込んでみよう。 <p style="text-align: right;">等</p> <p>※各児童の活動の進め方や進度によってめあては異なる。</p> <p>○振り返りを共有する。</p> <p>○本時の振り返りを基に、活動計画を見直す。</p>	<p>◎【自分の進度を可視化した振り返り】 振り返りの視点に沿って振り返らせ、次時の活動の見通しをもたせる。</p> <p>●活動の共有： 友達の振り返りや見直された計画から、自分の活動を見直させる。</p> <p>◇単元の課題に沿って学習を振り返り、次時以降の学習の見通しをもっている。</p> <p style="text-align: right;">＜ワークシート（態） [記] ＞</p>